

クビアカツヤカミキリ防除対策強化検討会の概要

(令和7年3月12日開催)

本検討会においては、有識者、関係省庁及び都道府県を参集した上で、実証計画の検証及びクビアカツヤカミキリの知見・技術開発について共有・検討を実施した。

1. 本検討会の参加者について

本検討会では、有識者4名を始めとして都道府県、環境省(地方機関含む)、林野庁、農林水産省(地方機関含む)から175名の参加があった(対面及びwebの併用開催)。

2. 本虫の発生状況及び知見・技術開発の共有について

国内では平成24年に本虫が確認されて以降、令和7年度2月末までに15都府県まで発生が確認されており、ウメやモモ等の果樹園や公園や街路のサクラで徐々に被害が広がっている。

また、参加府県からクビアカツヤカミキリの被害状況の共有、有識者から被害を受けた樹の伐採基準の事例等の情報提供があった。

3. 実証府県が作成した実証計画の検証について

果樹産地におけるクビアカツヤカミキリの防除体系確立の実証については、実証の内定府県(埼玉県、兵庫県、京都府、奈良県、和歌山県、徳島県)がその実証計画を作成し、提出があったところ。

本検討会では、実証の内定府県が作成した実証計画について、有識者から技術的な助言を行った。

4. 今後の実証スケジュールについて

実証府県は本検討会の有識者からの意見等を踏まえ、令和7年4月1日から実証を開始することとなった。

次回のクビアカツヤカミキリ防除対策強化検討会は、有識者と調整をした上で開催することとなった。